

(別添3)

【鳥取市】
校務DX計画

令和5年12月27日付5初修教第15号「GIGAスクール構想の下での校務DXチェックリストの自己点検結果の報告について（通知）」（以下「自己点検結果」という。）における自治体別達成状況では、鳥取市は全国平均をやや上回る数値となっている。（本市立小・中・義務教育学校57校の平均：387.3点、全国平均363.1点）

上記調査の結果、多くの学校で校務DXが進められている一方で、クラウド環境を活用した校務改善の進捗状況には学校間で大きな差があることが明らかになった。特に、下記項目について課題が残るため、課題と解決策を下記の通り計画し、今後重点的に取り組む。

1 教職員間の情報共有や連絡に、クラウドサービスを取り入れているか【目標値：100% (R8)】

自己点検の結果によると、教職員間の情報共有や連絡に、多くの学校がクラウドサービスを利用している一方で、25%の学校が「とり入れていない」と回答しており、学校間の差が生じている状況である。

市教育委員会としては、クラウドサービスを活用した教職員間の情報共有や連絡について、実施校の事例を情報共有して市内各学校に展開したり、クラウドサービスの使用に関するオンライン研修や学校訪問研修を行ったりする等、所管学校に対して働きかけを行う。

2 校内外の行事日程、施設や特別教室の利用予約について、クラウドサービスを使って共有し、いつでも確認できるようにしているか 【目標値：100% (R8)】

自己点検の結果によると、校内外の行事日程、施設や特別教室の利用予約について、51.8%の学校が、クラウドサービスを「全く取り入れていない」と回答しており、ほぼ半数の学校で、日程共有や施設予約等におけるクラウド活用が進んでいない状況である。

市教育委員会としては、クラウドサービスを使った日程共有や施設予約等について、導入・運用に係るオンライン研修や学校訪問支援を行ったり、クラウドサービスのフォーマットを提供したりして、各学校におけるクラウドサービスの積極的な活用を促していく。

3 教職員が作成した教材等をクラウド上で共有し活用しているか【目標値：100% (R8)】

自己点検の結果によると、教職員が作成した教材等のクラウド上での共有・活用については、多くの学校が取り組んでいる一方で、19.6%の学校が「全くしていない」と回答しており、大きな差が生じている。

市教育委員会としては、総合教育センターが主催する「情報化推進リーダー研修」や「ICTを活用した授業づくり研修」で協議や情報交換等を行ったり、クラウドサービスの活用・操作に係る研修動画を配信したりして、各種クラウドサービスを活用した校務の効率化等の情報交換・先進事例の共有を行い、クラウド環境の一層の活用を進める。

◎「教育DXに係る当面のKPI」

- ・クラウド環境を活用した校務DXを徹底している学校【本市目標値：100% (R8)】